



フェイスフェイス Face To Face

笠間市に住んでいる外国人と
お顔を拝見してお話をしてみました。



メリージェーン
カバル 小林さん

プロフィール

出身地: フィリピン
サンパレス県
オロンガボ市

現住所: 笠間市平町

家族: 夫 長男 長女 義理母

◀長男の入学式
(左がメリージェーンさん)

笠間市に住んでいる外国人に登場してもらい、母国の文化、笠間市の地域の人との交流、異国での子育て、仕事の事、将来の夢などを語ってもらいます。
I は国際交流協会の聞き手、
F は外国人の声です。
では、さっそく始めましょう。

I: メリージェーンさん、こんにちは。家族のみなさんはお元気ですか?
F: はい、長男の優輝は今年から中学生になり柔道部に入りました。妹の華緒里も元気に小学校に通っています。夫の静夫さんも子どもたちをキャンプに連れて行ってください、義理の母は日本料理を教えてください家族は私の宝物です。
I: それでは、日本での子育てはとても上手にできていますね。
F: はい。私たちはフィリピンの友達の結婚式で知り合い、フィリピンで結婚式をしました。夫の仕事の関係で日本に来ることになり、夫の実家で長男が生まれました。
I: ご主人のお仕事は国際的な業種なのですか?
F: はい、当時はBMWの技術系の仕事でした。勤務地は水戸市です。今は、同系列のBMW・MINIの会社で働いています。
I: メリージェーンさんもお仕事をしていますか?
F: 私はフィリピンの大学で情報工学を学び、PCプログラミングの仕事をしていましたが、出産前に辞めて来日して子育てに専念しています。



家族でキャンプの写真

I: 今までに日本に来て困ったことはありますか?
F: はい、車の免許を取る時が大変でした。フィリピンの免許証は日本国内で運転できる免許とは認めてもらえず、3か月間フィリピンに戻って現地で自動車学校に通いました。帰国後、念のため日本の自動車学校にも通いました。もっと大変だったのは、娘の華緒里が生まれて6か月後に東日本大震災が起きた時でした。赤ちゃんのミルクの確保と原発事故で水や空気や野菜などが汚染されていないか心配でした。でも、家族みんなで乗り切って今は幸せに暮らしています。学校のPTAの広報委員をしたり積極的に地域活動にも参加しています。
I: それは充実した素敵な毎日ですね。今日はありがとうございました。

【問い合わせ】

一般社団法人笠間市国際交流協会
TEL 090-276118711
木村 美枝子 (きむら みえこ)

茨城県高圧ガス保安協会笠間支部は、笠間市・桜川市(旧岩瀬町)のLPガス販売事業者で、消費者や公共安全を確保するとともに健全な生活の発展を願って活動しています。

笠間市総合防災訓練では、毎年災害に備えた訓練として、マイコンメータの復帰方法を体験して頂いております。

又、市内の小学校(笠間小・穴戸小・友部第二小・北川根小)へSiセンサーコンロを寄贈し、親子ふれあい料理教室を開催いたしました。

高齢者や子供たちの見守り活動実施中です。お困り事などお気軽にLPガス販売にご相談下さい。

茨城県高圧ガス保安協会
笠間支部
(LPG保安センター内)
0296-72-5084